

留 学 報 告 書

記入日:2016年7月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University, Fullerton
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年6月7日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬→2月中旬 2学期:1月下旬-5月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	40000人
創立年	1957年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	11244ドル	約140万円	
宿舍費	13920ドル	約170万円	寮費プラス1日1食分付
食費	5000ドル	約60万円	
図書費	400ドル	約5万円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費	1500ドル	約18万円	
医療費		円	
保険費	1185ドル	約15万円	形態:明治大学と、現地の大学の保険両方に加入
渡航旅費	1500ドル	約19万円	
雑費	2000ドル	約25万円	旅費など
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	36849ドル	452万円	

渡航関連

渡航経路: 成田⇄LAX

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	約 8 万円
復路	約 11 万円
合計	約 19 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

シンガポール航空(片道でチケットを取ることが可能だったため)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学のホームページからアクセスした

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

他のアパートに比べると少々値段は高いが、安全面では良いと思う

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した: 大学の中にあるヘルスセンターで受診した

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生用のオフィスはあったが、親身に相談に乗ってくれるような場所ではなくどちらかというと問題が起きた際に行くという感じだった。友人や、ルームメイトに相談した。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地で生まれ育った人に聞いた。特に無い。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校内には Wifi があった。たまに接続が悪い時、悪い場所などはあった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードとデビットカードを使用していた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特に無いと思う。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
就職活動を始めたばかりです。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
実際に留学を終えて帰国し、周りの就職活動が終わっている中で自分は始めるというのはなかなか大変なものだと思う。留学先からESなど出すことは可能ではあるが、自分がどの企業に入りたいかなど明確になっていない限り、説明会なども出ることができないため選ぶことが難しい。インターネットからES提出できるところもあるが、郵送の企業もあるので、国際郵便で送るとお金もかかる。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
19.5 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 18.5 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	1 セメスター
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Mohammad Abdel Haq
授業内容	社会学入門編
試験・課題など	中間試験と期末試験、期末レポート、プレゼンテーション
感想を自由記入	社会学入門に似た授業は日本でも履修したことがあったが、留学先で学ぶからこそ違った観点で学ぶことができ面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intorduction to Psychology	心理学入門
科目設置学部・研究科	心理学部
履修期間	1 セメスター
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Susan Sy
授業内容	心理学入門について
試験・課題など	4 回の中間試験と期末レポート
感想を自由記入	専門用語が多く出てくるので、英語で学ぶのは難しかったが興味深い講義だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Work	社会福祉
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	1 セメスター
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回
担当教授	Jessica Grimes
授業内容	ソーシャルワーカーの仕事や社会福祉について
試験・課題など	オンラインでのディスカッションボードへの書き込み、期末試験
感想を自由記入	Upper Division のクラスだったので、実際にソーシャルワーカーを目指している学生が多くクラスにいて刺激を受けた。教授本人もソーシャルワーカーとして働いており、具体例や実践的なアプローチなどを学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Modern Japan	日本・アジア史
科目設置学部・研究科	言語学部
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Kazuha Watanabe
授業内容	安土・桃山時代以降の日本とアジアの歴史について
試験・課題など	レポート、プレゼンテーション、中間試験と期末試験
感想を自由記入	日本で習ったことのある歴史の内容ではあったが、現地で日本やアジアの歴史を学んでいるアメリカ人の学生と授業を履修し、意見を交わすことによって新たな考え方などを得ることができたと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Mass communication in Modern society		現代におけるマスコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	コミュニケーション学部		
履修期間	1 セメスター		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回		
担当教授	Jeffrey Brody		
授業内容	主に SNS を中心としたメディアコミュニケーションツールの影響などについて学ぶ。		
試験・課題など	レポート、中間試験、期末試験、ブログを更新するという活動		
感想を自由記入	講義によくアメリカの政治や、もしくは大衆文化(昔流行ったテレビ番組やラジオ、音楽など)が内容として出てくるため、留学生としては授業の理解が難しかった。しかし同時にソーシャルメディア(ツイッター、インスタグラム、Facebook など)に関する授業も多かったため、面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fundamental Spanish A		スペイン語 2	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	1 セメスター		
単位数	5 単位		
本学での単位認定状況	3 単位単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 130 分が 2 回		
担当教授	Robert Ayala		
授業内容	スペイン語初級、主にスペイン語で授業が進められる、文法と会話		
試験・課題など	カンパシーションの試験、中間試験、期末試験に加えて授業毎に日記とオンラインの宿題提出		
感想を自由記入	語学の授業ということで課題としては多かったと思うが、授業時間も長くカンパシーションが中心のため、クラスの学生とも仲良くなることができ、楽しい授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Advanced Grammar		英語 4	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	1 セメスター		
単位数	1		
本学での単位認定状況	1.5 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Jenna Stokes		
授業内容	英語文法上級		
試験・課題など	小テスト、中間試験、期末試験		
感想を自由記入	語学学校のプログラムの文法の授業だった。他の大学の講義と比べ、和気藹々とした雰囲気を受講することができたので良かったと思う。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL の授業を受講
8月～9月	出願する大学について調査
10月～12月	留学先大学にアプライ
2015年 1月～3月	選考結果
4月～7月	留学準備(寮申し込みなど)
8月～9月	渡米
10月～12月	生活に慣れてくる
2016年 1月～3月	後期の授業が始まる
4月～7月	セメスター終わり、帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学入学当初から、最低でも 1 年間の留学を考えていました。これまで勉強してきた英語ですが、海外の大学で現地の学生と共に講義を受けることで、実際に英語をツールとして使い、上達させたいという思いが強かったと思います。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語の勉強はそれまで続けてきたのと同様続けましたが、やはり留学してから学べることに比べると日本でできる勉強は限られてくると思います。単語や文章を読むことなどできることは日本でしておいたほうがいいかとは思いますが。
この留学先を選んだ理由	学部には属するのではなく、複数の学部から授業を履修することができるという点が魅力的だと思ったからです。他には、個人的に暖かい天候が好みだったので選びました。
大学・学生の雰囲気	学校で一つ！というような雰囲気というよりは、それぞれの学生がそれぞれ自分の勉強をしに学校に来ているという雰囲気はありました。しかし、そこまで街にある大学ではないので、のんびりとした雰囲気の中でゆったり時間が流れていた感じを受けました。
寮の雰囲気	そこまで交流活動が活発なわけではありませんが、和気藹々とした雰囲気だったかと思えます。学生の寮長がそれぞれの寮にいるので、何かあった時は相談できるなど、安心でした。
交友関係	自分から行動することによって交友関係は広げることができると改めて実感しました。自分が動かなければ、留学生だからといってアプローチしてくれる人は多くはありません。クラブ活動に参加したり、クラスの友達に自分から話しかけるなどして友達はだんだん増えていきました。
困ったこと、大変だったこと	体調を崩した時はとても心細い思いをしました。日本から少し薬を持って行ってはいましたが、足りなかったり、症状に合うものではなかったり苦労しました。
学習内容・勉強について	空き時間は図書館で勉強して過ごすことが多かったです。どの授業でも、教授の言っていることを完璧に理解することはできないという言語の壁があったため、後からレコーダーを聞きなおす作業や、授業の前に一通りわからない単語を全て調べるなど時間がとてかかりました。しかし、自分の勉強したことが積み重なってわかるようになってきた時は、非常に嬉しかったです。ディスカッションやプレゼンテーションも多いので、クラスの学生と関わる機会も多く、助けられることも多くありました。
課題・試験について	授業前に資料や教科書を読んでから授業に行くことが当たり前なので、時間はかなり取られました。試験は、全体的に授業で扱った内容や自分が読んだ資料からあまりひねることなく出題される傾向があるかなと思います。なので、勉強していれば大丈夫かなという感じでした。
大学外の活動について	休日は海や山など自然の中で遊ぶことが多かったです。ロサンゼルスまでも 1 時間弱で行けるため、街に行くこともでき、自然と街を両方楽しむことができました。
留学を志す人へ	目的を持つということが大切かなと思います。なんとなく、海外にいただけでは時間がどんどん過ぎてしまってあっという間に留学生活が終わってしまうと思います。自分が留学先でどんなことを学ぶのか、また留学終了後に日本に帰ってどんなことを志すのか、またはどんな仕事に就きたいのかなど考えることが大切かなと思いました。あとは後悔のないように思い切り楽しむことだと思います。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	予習	授業	ジム	授業	洗濯など家事	クラブ活動	勉強・出かける
	授業	授業	授業	授業	予習・復習		
午後	授業	昼食	授業	昼食	自由時間		
	復習	クラブ活動	夕飯	自由時間			
夕刻	夕飯	夕飯	授業	夕飯			
夜	ジム	自由時間	自由時間	自由時間			